

# 書面添付シンポジウム2021が開催されました

令和3年9月21日（火）Web開催（京滋会研修センター配信拠点）

62事務所105名が受講（視聴）されています

これからの中小企業金融における税理士と『書面添付』の役割について  
～書面添付を標準業務化することが不可欠です！！～

コロナ禍において書面添付を付した決算報告書がモニタリング情報サービスにて金融機関に届き、その結果、円滑かつ迅速に金融支援が受けられたという事例が出てきています。書面添付の価値が広く理解されてきているといえるでしょう。

全国の書面添付のうち約半数がTKC会員によるものですが、TKC会員が書面添付を実践できている理由は、「巡回監査体制」にあるのが明らかです。そして、訴求訂正を禁止し、訂正する場合は痕跡を残す「TKCシステム」が、信頼性を高めています。正しい記帳と信頼性が高い決算報告書を背景として、書面添付に積極的にお取り組みください！



TKC全国会 書面添付推進委員会  
委員長 濱田 秀文先生

経営者と支援者（顧問事務所、メイン金融機関）のパネルディスカッション  
～書面添付は企業と会計事務所との信頼の証し～

## 【新庄社長のコメント】

中小企業の社長にとって、「経営パートナー」と呼べる税理士がいるかどうかは非常に大きい分岐点です。また、資金繰りについて親身になって相談に応じてくれる金融機関がいるかどうかも重要です。自分には両方ともいるので、とてもありがたく感じています。

企業の成長発展が税収を増やすので、税理士の仕事は、企業の成長発展を支えることだと考えます。つまり、社会を良くする立場の方々だといえます。

誠実・正直に経営する必要性を説いてくれるのが、「自利利他」の精神をお持ちのTKC会員の先生方であり、巡回監査に基づく正確な決算書と、それを保証する書面添付制度の推進は、素晴らしい取り組みだと理解できました。

本日のシンポジウムを通して、私自身、書面添付制度について非常に良く知ることができました。この制度を他の社長にも薦めたいと思います。



角谷会計事務所  
監査担当者  
神佐真由美先生

ニューワズ株式会社  
新庄一範社長

京都信用金庫  
瀬田支店  
鎌田廣茂支店長



講師・パネラーと主催者（佐藤会長、巴山書面添付委員長）